

令和3年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	73	学校名	静岡県立浜松湖東高等学校	記載者	大場 誠
------	----	-----	--------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	自ら学ぶ習慣を育成し、確かな学力を伸ばさせる。	自分自身の苦手箇所を正確に把握し、自分に合った学習を進められる生徒80%以上	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディサプリや Google Classroom の活用により、新しい自己学習の方法を採用し、コロナ禍の中でも生徒に学ぶ機会を与えている。 ・コロナ禍の中で「自ら学ぶ」ことはたいへんだとは思いますが、この先、本当に大切になってくると思う。 ・社会人として必要なものは、自己アピール力、提案力、コミュニケーション力である。要改善。 ・自己理解や興味関心が深まらないと学力も伸びない。
	探究的な学びを推進する。	情報発信力が身に付いたという生徒70%以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・探究の時間では、生徒が自ら問題意識を持ち、仮説を基に提案や発信ができています。
		自分の考えを表現できると答える生徒70%以上	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観させていただいたが、グループ討議形式の授業があったりして、生徒に考える場を与えている。 ・やりたいことがないと、ものを考えないのではないかと思う
	「時を守り、場を清め、身を正す」指導をすすめる。規範意識を醸成する。	校内における私物の管理（机上やロッカーの上等に放置しない）ができる生徒95%以上	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校内はきれいに整理整頓されている。 ・時はすべてにつながる規律
		「生活面（服装・頭髪等）はしっかりしている」と答える生徒80%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶がしっかりできているし、人柄の良さそうな生徒が多い。 ・1分前行動（メロディーチャイム）ができています。
生徒が主体的に将来設計できるような進路指導を推進する。	自分自身の実力を正確に把握し、自分に合った進路を決められる生徒80%以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・先生が生徒に対して親身になって対応している様子が感じられる。 	

様式第5号

		本校の進路指導に対して満足と感じる卒業生 90%以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・先生と生徒の距離感が近いこと、進路など相談しやすい基盤が自然と作られていると思う。 ・前年同様の数字が出ていることは評価できる。
ア	全員が積極的に関り、主体性や社会性を育む。	県大会へ出場する部活動(大会等がない部活動は対外的活動実施) 80%以上 各部活動による奉仕活動 年1回以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・熱心かつ楽しそうに部活動に取り組んでいる様子がうかがえる。学校のHPにも試合結果が公開され、生徒の励みにもなるし父兄にとっても情報が共有されるので良いことだと思う。 ・部活動や学校活動が盛んだから学校の人気が出るのかその逆なのかは分からないが、学校のキャラクター作りとしては重要だと思う。
		生徒会行事等は生徒自らの企画・実行により行われていると感じる生徒 80%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭なども計画力や実行力が感じられる。
	一人ひとりが、諸活動に前向きに参加し、他者との関わりの中で自己肯定的感を醸成する。	本校の教員は自分のことを認めてくれていると感じる生徒 80%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・82%の達成率、すごいと思う反面、10人に2人は認めてもらっていないと感じている生徒がいるのも少し心配だ。 ・とても良いことであり、今後も続けてこの雰囲気大事にしたい。 ・1分間カウンセリングなど、先生方の生徒へのかかわり方が素晴らしいと思う。
		学校に安全・安心の場があると答える生徒 80%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・湖東高校の校風・特徴の一つと言える。
広い視野で物事を考えることができるよう、読書活動の充実を図る。	授業を含め図書館を利用したと答える生徒 80%以上	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン・スマートフォンで何でも調べられるので図書館の有効活用は時代的に難しくなっているのではないかと。 ・本に親しめる工夫を願いたい。 ・1年生が全員体験した後、2・3年になっても継続的に使う工夫が必要。Youtube コーナーとか今までの図書室の特徴にとらわれずに何かできればと思う。 	
イ	研修を充実し、その成果を共有することで、指導力の向上を図る。	授業見学、授業改善及び学習評価の校内研修、校外研修の内容を共有し、授業で実践した教職員 70%以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・他校の事例や授業の改善点を検討し、良いものを取り入れていくという継続的な改善が大事だと思う。

様式第5号

イ	内規・各種規定の整理を行い、効果的な指導方法を検討する。	点検した内規・規定 100% 各事業の目的の明確化 100%	B	B	・新しい制度やコロナ禍の中で従来の規定とは隔たりのあるものも出てくるため、定期的な点検は重要である。
	保護者、県民等への広報活動を充実する。	ホームページ更新数 年 100 回以上 行事開催の案内通知と併せたメール配信の実施	A	A	・常に最新情報がアップされている。 ・多くの人に見ていただく工夫を。基本的に親は子どもが気になるので、いろんな場面を動画配信したらいい。
	PTA・後援会・同窓会と連携した教育環境の整備を図る。	良い環境で学習・部活動ができていると感じる生徒 70%以上	A	A	・必要なことがあればPTAや講演会を頼ってほしい。
	施設設備の充実を図る。	危険性の早期把握、迅速な対策、及び利便性の向上	B	B	・限られた予算枠の中で上手なやりくりを願いたい。